岩倉市立南部中学校第２学年　学年通信

元気もりもり　いい気分！

第４４号　平成２０年１月１８日発行 ― 進め　２年生 ―

命の授業Part Ⅱ

一昨年まで本校の職員であった矢野原（旧姓千田）久美子先生＆大登（だいと）君＜お子さん＞ら４組８名の親子をお招きして「命の授業 Part Ⅱ」を 15 日（火）に実施しました。

最初，白澤先生に受精卵から胎児が大きくなっていく様子を説明していただき，新生児の赤ちゃん（人形）を見せていただきました。特に４組の男子に人気がありました。自分の生まれた頃の様子を代表者に話してもらった後，フレッシュママを代表して，矢野原先生からのお話を聞きました。ほぼ１時間おきに授乳しなければならなくて体力的にきつくても，日に日に成長していく我が子の様子に喜びを感じるとか，自分がどうやって親に育ててもらったのかそのプロセスが分かり，親に感謝の気持ちでいっぱいだといった話が印象的でした。各クラスごとに分かれての『ふれあいタイム』は，あちこちから「かわいい。」「かわいい。」の声が聞かれました。実際に抱っこさせてもらって普段見せない笑顔の人もいましたね。

最初はこんなに小さかったのです

「僕は自転車が好きでした。」

ゲストの皆さん

「緊張するなあ。」

「あ，笑った！」

「まだ３か月なのか･･･」

妙になついています

周りの人の表情もいいな･･･

○　学校に赤ちゃんが来てくれたのは初めてで，すっごく小さくて壊れちゃいそうだった。自分も昔はあんな感じだったんだなあと思うとすごく不思議な気分になった。お母さんはすごく大変な思いをして私を育ててくれたんだあと思った。私もいつかお母さんになったら，大切に赤ちゃんを育てたいなあと思った。（猪子果穂さん）

○　自分では赤ちゃんだった時の事は覚えていませんが，今日の話を聞くと赤ちゃんを育てるのがどれだけ大変で難しい事かがよく分かりました。赤ちゃんを見ていると，あくびをしたり，笑ったりして，毎回いろんな仕草をして，見ていてあきませんでした。（齋宏治君）

「命の授業 Part Ⅰ」で来校いただいた芝辻さんは１月３日に元気な男の子を出産されたました。おめでとうございます。

実力テスト最後の英語の様子→

１月１８日の花　うきつりぼく（花言葉・憶測）
↓

1689 年のこの日，「法の精神」の中で『三権分立』の理論を唱えたモンテスキューが生まれています。

1915 年のこの日，第一次世界大戦がヨーロッパを主戦場に戦われている間隙をぬって，時の大隈重信内閣は，日本の中国における大幅な拡大（山東省のドイツ権益の継承，旅順・大連の租借期間の延長など）を内容とする要求書を突きつけました。（「二十一か条の要求」）　中国では，承認をした５月９日が「国恥記念日」となり，日中関係は決定的に悪化しました。

訂正　21日（月）H1・H2・H3・H4・H5・H6　　25日（金）金1・金2・金3・金4・金5・金6